

## 新年のご挨拶



埼玉県歯科医師連盟会長 飼馬直樹

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は埼玉県歯科医師連盟諸活動に対しご協力を頂きました。改めまして感謝申し上げます。

昨年6月には歯科界にとり喜ばしい事がありました。2017年の「骨太の方針」に初めて「歯科口腔医療の充実」について掲載されました。「骨太の方針」とは「経済財政の運営と改革の基本方針」で、日本の経営方針であります。抜粋ですが、(1) 社会保障④健康増進・予防の推進等の項目の内に、「口腔の健康は全身の健康にもつながることから、生涯を通じた歯科健診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進など歯科医療の充実に取り組む」と記載されました。

今迄、経済財政諮問会議では医療費の適正化＝減額化の討議ばかりでありました。

「医科病院では赤字の所も多くあるが、歯科診療所は黒字だから歯科診療報酬は下げても良いのでは」とある民間議員の発言もあったやに仄聞していました。院長の給料を下げ、従業員歯科衛生士の確保に努力している歯科界の実情を理解していないばかりか、悪意さえ感じるのは私だけでは無いと思います。その様な状況下での変化は、高橋英登日歯連盟会長と山田宏参議院議員のお蔭だと考えます。

前回の参議院選挙において、準職域代表山田宏先生が、各都道府県歯科医師連盟の支援にて、149,833票を獲得して当選されました。昨年5月には「歯科口腔医療勉強会」を立ち上げました。関口昌一先生、石井みどり先生等を相談役とし、岸信夫衆議院議員を顧問に願い、19人の委員（三ツ林裕巳先生他）の意見を集約し、山田議員は座長として「歯科保健医療の充実」を安倍首相に提言されました。

高橋英登日歯連盟会長は就任以来、連盟再生を掲げ、全国を駆け回り、政権中枢との堅い絆を結ばれました。お二人のご努力が結実しました。

昨年10月、第48回衆議院総選挙において1票の格差是正により10議席減にもかかわらず、自民党は公示前と同数の284人の議席を継続しました。7月の都議選では自民党が惨敗しました。小池人気、希望の党の勢いのなかでの解散でした。前原民進党代表の判断ミス、小池代表の驕り等で急転しました。埼玉県15選挙区においても、13人の選挙区当選、2人の比例復活、1人の比例単独当選と16人の当選となりました。全員の議員の皆様方は歯科界に対し理解の深い方々です。会員・ご家族・従業員の皆様のご支援ありがとうございました。

医療保険制度を取り巻く環境は厳しい現状であります。

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年とその先を見据えて、地域包括ケアシステムの構築を確立し、健康寿命の延伸が必要です。歯科保健・医療の充実を目指し歯科医師連盟は活動して参ります。本年もよろしくお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。